

【学科目区分：声優／ナレーター／アニソン】

番号：学科目名	158	声優アニメアテレコ演技実践	8単位	通年
指導講師	和田 みちる / 吉崎 拓郎			
授業のテーマ	自分の声を正しく知る。伝わる声を出す。 自分以外のキャラクターを演じる事で、他人への理解を深める。			
授業計画及び内容	<p>本格的なスタジオで、声優が受け持つ様々な声の仕事、実践レッスンで学習します。</p> <p>マイクを通した声を実際に自分で聞くことによって、自分の声を正しく知ることができます。また、マイク前での立ち振る舞いなど、業界の話なども交えながら、演技とは何かを学びます。</p> <p>複数の人と一緒にマイクの前に立ち、演技という表現方法を通して、人とのコミュニケーションを深めていきましょう。</p>			
教材・参考書	授業にて資料を配布			
成績評価の方法	出席日数、学習姿勢、演技成果			
履修上の指示事項	遅刻厳禁			

【学科目区分：音響デザイン - PA/録音/イベント/音楽ビジネス/映像/映像音楽】

番号：学科目名	159	やさしい音響概論	4単位	通年
指導講師	相原 耕治			
授業のテーマ	音の基本や様々な音の現象について数式を使わず、可能な限りDAWを用いて、見て、聞いて、感じて学習する。楽器やエフェクターについても触れる。音響技術者を志す方だけでなく、音に関わり音の世界に興味のある方を対象。			
授業計画及び内容	<p>毎回着目したテーマに沿って学習</p> <p>例として 音の三要素、位相、波形と音色、パイプオルガンと倍音の話、純音とノイズ、耳の構造、音声とフォルマント、周波数、音階と音名とMIDI、楽器の分類、フラッターエコー、カクテルパーティー効果、ハース効果、マスキング、音素修正効果、デジタル録音、ステレオとモノラル、立体音響、マイクとスピーカー、エフェクターについてなど</p> <p>変更の可能性もありますが、このような内容の説明や実験で進めていく予定。</p> <p>DAW:Digital Audio Workstation = 音楽制作のソフトウェア。 MIDI:Musical Instrument Digital Interface = 電子楽器の演奏情報の規格。電子楽器の演奏をDAWに記録やプログラムして演奏させる。</p>			
教材・参考書	なし。欠席する場合は出席者に写真をもらうなどして自習。			
成績評価の方法	出席日数と授業態度			
履修上の指示事項	プロジェクターでの説明が多めのため、非公開を条件に受講者の学習目的でのみ画面の写真撮影可とします。			

【学科目区分：音響デザイン - PA/録音/イベント/音楽ビジネス/映像/映像音楽】

番号：学科目名	160	ミキシング入門(隔週)	4単位	通年
指導講師	山形 裕和			
授業のテーマ	ミックスという作業は、どういうことをするのか？それを実際にやってみよう！			
授業計画及び内容	<p>シンガーソングライター視点で「楽曲を仕上げていく工程＝ミキシング」をお伝えします。</p> <p>簡単な音量調整の内容から始まり、PAN、EQ、コンプ、リバーブなど基本となるプラグインの使い方を学びながら最終的には複数トラックのミキシングまでチャレンジして頂きます。</p>			
教材・参考書	適宜資料配布			
成績評価の方法	出席日数と授業態度を考慮			
履修上の指示	初心者歓迎			

【学科目区分：音響デザイン - PA/録音/イベント/音楽ビジネス/映像/映像音楽】

番号：学科目名	161	レコーディング講座	8単位	集中講座
指導講師	吉崎 拓郎			
授業のテーマ	レコーディングや楽曲制作など様々な場面で使用されるソフトウェア「Pro Tools」の基本操作方法を通じ、様々な制作現場に対応できる知識と技術を学びます。			
授業計画及び内容	<p>業界標準といえるソフトウェア「Pro Tools」の操作方法を学びます。録音、編集の作業スピードを向上させる事で、アーティストが気持ち良くパフォーマンスに集中できるよう実際の現場感覚に繋いでいきます。</p> <p>また、ミキシングについても触れていきます。DTMでの作曲作業をされる方をはじめ、プレイヤーの方々も全体のアンサンブルをどのようにまとめているかを知ることで、効果的なレベルアップを図ることができます。</p> <p>「レコーディング実習」と同様、録音を希望される演奏者を随時募集致します。演奏参加者も履修登録をお願いします。オールジャンル様々な楽器のご参加をお待ちしております。</p>			
教材・参考書	適宜資料配布			
成績評価の方法	出席日数と授業態度を考慮			
履修上の指示	専攻学科問わず参加可			

【学科目区分：音響デザイン - PA/録音/イベント/音楽ビジネス/映像/映像音楽】

番号：学科目名	162	PA・SR実習 1年2年	6単位	通年
指導講師	小松 久明			
授業のテーマ	ミキシングをメインテーマに、座学ではなく履修生が実際に参加する形で学習を進める実践型の講座となります。			
授業計画及び内容	<p>ライブハウス・アリーナなど様々な大舞台のPA・サウンドエンジニアを手掛ける現役の音響エンジニアをお招きし、実践を中心に学んでいきます。</p> <p>初心者からでも分かりやすく教えることに定評のある、後進育成や人材教育の経験も豊富な講師ですので年齢・経験不問でご参加いただくことができます。</p> <p>あまり触る機会の無い方も、実際に音響ミキサーを操作するなど履修生が実際に参加する形で授業進行していきます。</p> <p>1年目はマイクスタンドの立て方や、シールド類の巻方機器の結線など基本作業、そしてアナログミキサーの概念を学びます。</p> <p>2年目のステップとして「デジタルミキサー (YAMAHA-QL-5)」を基本として、ミキシングを学んでいきます。授業は「アナログミキサー」の概念が理解している前提で進めさせていただきますので、復習等準備をしていきましょう。</p> <p>実践形式も意識をし、国立音楽院主催イベントにて実際に仕込み等行う機会も作ります。最初は舞台のマイキング作業等で参加していきましょう。</p> <p>なお、音響デザイン科の方のみならず、ライブイベントや舞台公演、サウンドメイキングやアンサンブルの理解など幅広い分野に関わる学習内容ですので、学科を問わず履修を推奨いたします。</p> <p>実践形式も意識をし、国立音楽院主催イベントにて実際に仕込み等積極的に参加を望みます。</p>			
教材・参考書	適宜配布			
成績評価の方法	出席・履修態度・積極性			
履修上の指示事項	・動きやすい服装でご参加下さい			

【学科目区分：音響デザイン - PA/録音/イベント/音楽ビジネス/映像/映像音楽】

番号：学科目名	163	照明実習 1年2年	6単位	通年
指導講師	中野 剛			
授業のテーマ	デジタル照明卓1年目は(ELITE)の基本操作を学び、イベントにおける実践で実技経験を踏みます。デジタル照明卓2年目は(QUARTZ)を使い応用操作を学び、イベントにおける実践で実技経験を踏みます。			
授業計画及び内容	<p>1年次では、以下を学びます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、基本知識の講習 2、ホール機材を使って機材・照明卓の操作講習 3、照明デザイン・オペレーターの講習とシミュレーション(3Dソフトを使用してのデータ作成) 4、実際のライブなどでの実技(パラダイスホールイベント) <p>2年次では以上の応用編を学んでいきます。</p> <p>現在、KMAパラダイスホール使用している機材の把握、照明卓<QUARTZ>を使いこなせるとことまで目標にしていきましょう。</p>			
教材・参考書	適宜配布			
成績評価の方法	実技、出席の総合評価			
履修上の指示事項	運動しやすい服や靴、軍手をご用意下さい。			

【学科目区分：音響デザイン - PA/録音/イベント/音楽ビジネス/映像/映像音楽】

番号：学科目名	164	映像制作入門	6単位	通年
指導講師	湯川 寛行			
授業のテーマ	映像編集ソフトの基本的な操作方法を学ぶ。			
授業計画及び内容	<p>初心者を対象にコンピューターを使った映像編集ソフトの基本的な使い方を教えます。</p> <p>基本操作と映像データの基礎知識を身に付け、オリジナルの映像作品を制作することを目指します。</p> <p>コンピューターの操作にあまり慣れていない人から映像編集ソフトを持っているが使いこなせていないという人まで幅広くフォローします。</p>			
教材・参考書	データ保存用にUSBメモリ、ヘッドフォン（イヤフォン可）、筆記用具をご用意ください。			
成績評価の方法	出席率			
履修上の指示事項	特になし			

【学科目区分：コンピュータミュージック】

番号：学科目名	165	コンピュータミュージック実技 1年	16単位	通年
指導講師	関野 元規 / 福島 英樹			
授業のテーマ	<p>パソコンにおけるDTM、DAWソフトを使い、オリジナル楽曲制作や音楽制作全般の流れを学ぶ。作曲、アレンジ、演奏（または打ち込み）、ミックス・マスタリングまでの知識習得とDTM・DAWテクニックを高め、より高度なオリジナル楽曲制作を目標とする。指導対象者は初心者からプロ志望、またはプロの音楽家、作編曲家、アーティスト、JPOP音楽作家、CM音楽作家、ゲームミュージッククリエイター、シンガーソングライターといった広範囲な音楽職業に対応できる力を養う。</p>			
受講対象	<p>コンピュータミュージックコース1、2年生の必修実技。 他専攻学科の履修は実技レッスン（副科）の扱いになります。</p>			
授業計画及び内容	<p>DTM・DAW基礎実習：MIDIの基礎的な知識習得、DAWにおける波形編集やエフェクター、ミックステクニック、マスタリングまでの流れを習得。また作曲、アレンジの基本的な技術習得。オリジナル楽曲制作。</p> <p>サウンド・プロフェッショナル：上記DTM・DAW基礎実習、サウンド・クリエーションで培った技術を統合し、自分のアイデアを音楽作品としてまとめることを目指す。ミックス、マスタリング、外部スタジオとのリンクなど、サウンドプロデュースに必要な知識やツールの勉強を通じて、最終的に自分の楽曲をより高度にプロデュースする力を身につける（2年生、研究生対象）。</p> <p>（発表予定） ●国立祭 SHOW CASE LIVE 2026年12月15日（火） 会場：KMAパラダイスホール</p>			
教材・参考書	適宜資料配布			
成績評価の方法	作品提出と発表			
履修上の指示事項	<p>コンピュータミュージックの実技に相当します。 その他専攻生が受講する場合は実技科目に相当します。</p>			